

# 平成 27 年度下水道事業決算状況

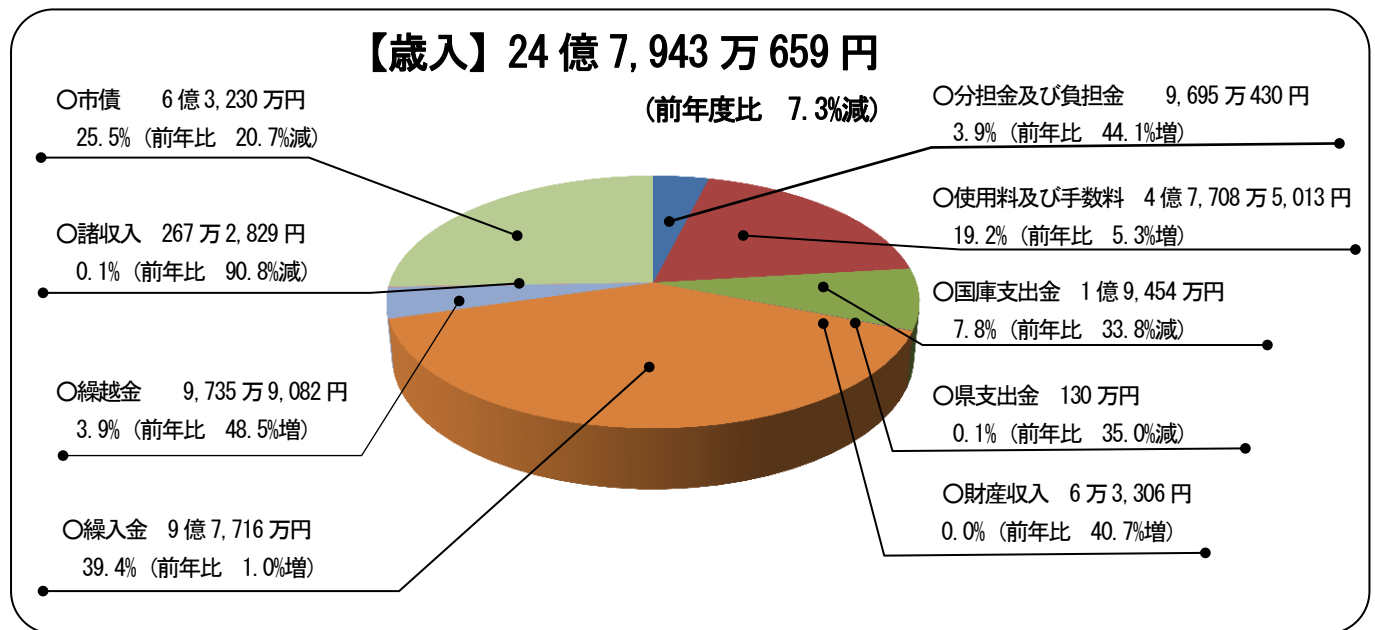
## ① 下水道事業特別会計

那珂市の下水道事業の全体計画は、面積 3,257.8ha、人口 41,800人で、その内、面積 1,710.6ha、人口 30,000人で事業認可を取得し事業を進めております。認可区域内の供用開始は、面積 1,283ha、人口 27,505人で、供用開始率は行政人口 55,576人に対し 49.49%となっています。供用開始区域内における接続済は 26,071人で 94.79%となっています。今後、効率良く整備を進めるために、整備区域の見直し、整備手法の検討等を行っていく予定です。

### ◆ 歳入 24 億 7,943 万 659 円 (単位：円)

費 目	平成 27 年度	割合	平成 26 年度	増減
分担金及び負担金	96,950,430	3.9%	67,272,400	44.1%
使用料及び手数料	477,085,013	19.2%	453,098,108	5.3%
国庫支出金	194,540,000	7.8%	293,650,000	△ 33.8%
県支出金	1,300,000	0.1%	2,000,000	△ 35.0%
財産収入	63,306	0.0%	44,980	40.7%
繰入金	977,160,000	39.4%	967,588,000	1.0%
繰越金	97,359,082	3.9%	65,547,494	48.5%
諸収入	2,672,828	0.1%	29,068,220	△ 90.8%
市債	632,300,000	25.5%	797,500,000	△ 20.7%
合 計	2,479,430,659	100.0%	2,675,769,202	△ 7.3%

歳入内訳は、下水道事業の収入源である負担金、使用料及び手数料収入の割合が 23.1%と低く、その一方で一般会計からの繰入金が 39.4%、市債の占める割合が 25.5%となっており、独立採算を旨とする下水道事業が、他会計からのお金や、将来の償還が必要な借金によって賄われている状態にあります。



- 分担金及び負担金 … 公共下水道の受益を受ける方から受益面積に応じて負担金を頂いています
- 使用料及び手数料 … 下水道使用者から汚水の処理に係る費用を汚水の排出量により定めた料金を頂いています
- 国庫支出金 … 国補助対象事業費の50%が補助金として国より支出されています
- 県支出金 … 市単独事業費に対して、市の財政状況による割合で県より支出されています
- 財産収入 … 下水道基金積立金の利子等です
- 繰入金 … 国・県からの支出金、市債等で不足する事業費を一般会計から繰入れしています
- 繰越金 … 前年度の収支差による繰越金です
- 諸収入 … 消費税還付金等です
- 市債 … 市で支出する事業費の一部を借入れしています

# ◆歳出 24億506万2,600円

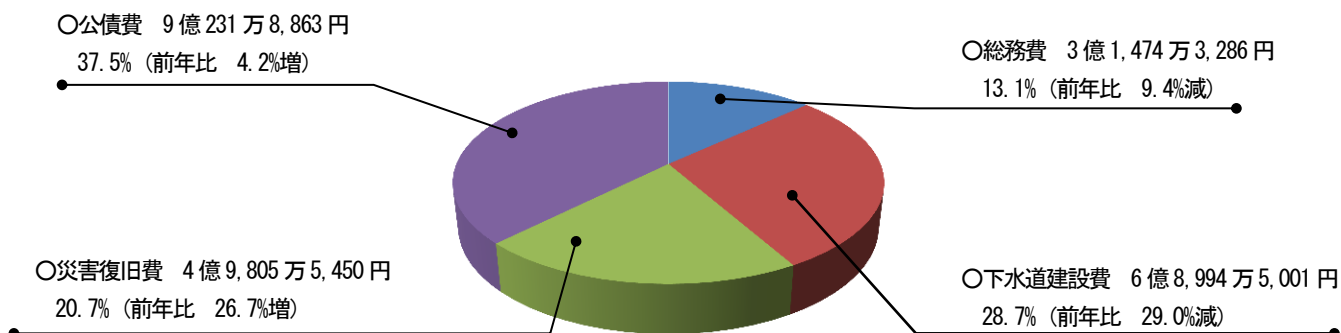
(単位：円)

費目	平成27年度	割合	平成26年度	増減
総務費	314,743,286	13.1%	347,546,271	△ 9.4%
下水道建設費	689,945,001	28.7%	971,809,313	△ 29.0%
災害復旧費	498,055,450	20.7%	393,037,100	26.7%
公債費	902,318,863	37.5%	866,017,436	4.2%
予備費	0	0.0%	0	0.0%
合計	2,405,062,600	100.0%	2,578,410,120	△ 6.7%

歳出内訳は、下水道総務費が13.1%、下水道建設費が28.7%、災害復旧費が20.7%、公債費が37.5%を占めております。建設費用のために借入れた市債を償還するため、公債費が大きな割合を占めており、予算の硬直化が進んでいる現状があります。

## 【歳出】24億506万2,600円

(前年度比 6.7%減)



総務費 … 職員人件費、事務費、下水道施設維持管理費等に要する費用です

下水道建設費 … 下水道施設新設に要する委託費、工事費等です

災害復旧費 … 東日本大震災により被災した下水道施設の復旧に要する委託費、工事費等です

公債費 … 建設費用のために借り入れた市債の償還に要する費用です

予備費 … 不測の事態に対応するために要する費用です

### ●過去5年間の事業費の推移

#### ◆歳入

費目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
分担金及び負担金	46,593,770	106,400,600	146,175,800	67,272,400	96,950,430
使用料及び手数料	377,585,242	424,565,056	425,823,449	453,098,108	477,085,013
国庫支出金	289,190,000	666,521,000	345,650,000	293,650,000	194,540,000
県支出金	900,000	1,700,000	2,100,000	2,000,000	1,300,000
財産収入	15,777	27,758	29,043	44,980	63,306
繰入金	1,263,030,000	542,577,000	751,863,000	967,588,000	977,160,000
繰越金	208,660,596	569,313,249	252,019,681	65,547,494	97,359,082
諸収入	3,039,600	50,000,000	63,436,160	29,068,220	2,672,828
市債	448,400,000	544,800,000	1,043,200,000	797,500,000	632,300,000
合計	2,637,414,985	2,905,904,663	3,030,297,133	2,675,769,202	2,479,430,659

#### ◆歳出

歳出	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
総務費	379,234,587	317,120,617	400,850,629	347,546,271	314,743,286
下水道建設費	340,209,309	416,689,591	1,031,999,444	971,809,313	689,945,001
災害復旧費	409,568,915	970,411,613	216,621,617	393,037,100	498,055,450
公債費	939,088,925	949,663,161	1,315,277,949	866,017,436	902,318,863
予備費	0	0	0	0	0
合計	2,068,101,736	2,653,884,982	2,964,749,639	2,578,410,120	2,405,062,600

## ②農業集落排水整備事業特別会計

那珂市の農業集落排水事業は、戸崎、西木倉、門部、神崎額田、戸多北部、鴻巣、酒出地区の7地区を計画地区とし、すでに戸崎、西木倉、門部、神崎額田、戸多北部、鴻巣地区の6地区で供用開始しています。鴻巣地区については平成27年度に管路整備が完了し整備が終了しました。酒出地区につきましては平成26年1月に事業採択され、平成27年度より管路工事に着手し、平成32年度に供用開始する計画です。酒出地区を除いた、6地区全体の計画人口は、9,070人で、供用開始人口は、7,142人になり、供用開始率は行政人口55,576人に対し12.85%となっています。供用開始区域内における接続済人口は5,901人で82.62%となっています。酒出地区が完了すると農業集落排水事業計画地区の全てが完了します。

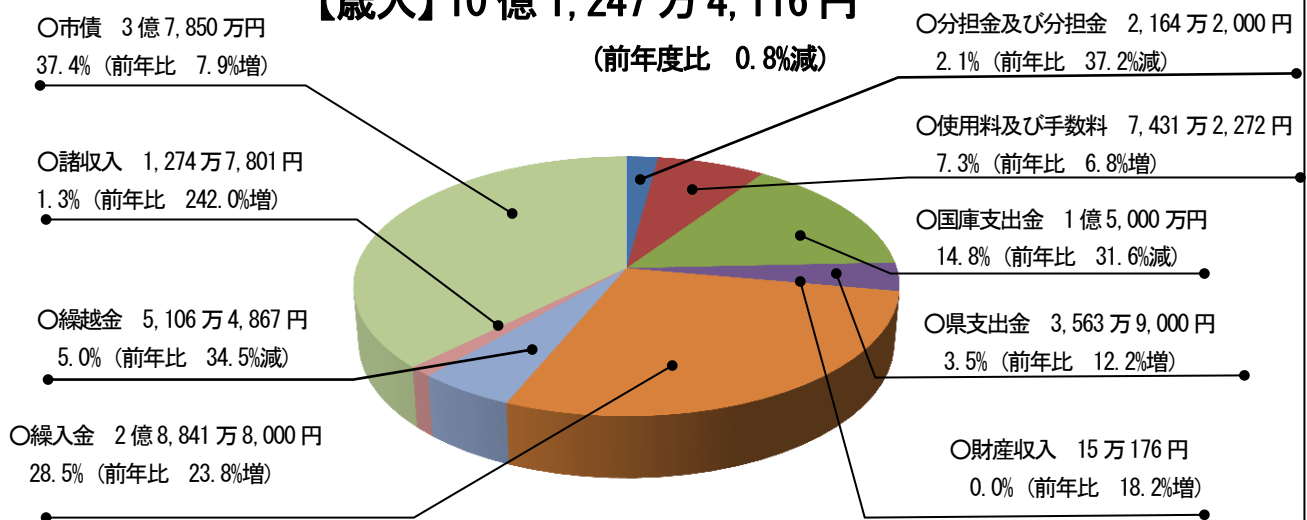
### ◆歳入 10億1,247万4,116円 (単位：円)

費目	平成27年度	割合	平成26年度	増減
分担金及び負担金	21,642,000	2.1%	34,435,000	△37.2%
使用料及び手数料	74,312,272	7.3%	69,589,096	6.8%
国庫支出金	150,000,000	14.8%	219,350,000	△31.6%
県支出金	35,639,000	3.5%	31,765,000	12.2%
財産収入	150,176	0.0%	127,075	18.2%
繰入金	288,418,000	28.5%	232,975,000	23.8%
繰越金	51,064,867	5.0%	77,979,218	△34.5%
諸収入	12,747,801	1.3%	3,727,406	242.0%
市債	378,500,000	37.4%	350,900,000	7.9%
合計	1,012,474,116	100.0%	1,020,847,795	△0.8%

歳入内訳は、農業集落排水事業の収入源である使用料、分担金収入の割合が9.4%と低く、その一方で一般会計からの繰入金が28.5%、市債の占める割合が37.4%となっており、独立採算を旨とする事業が、他会計からのお金や、将来の償還が必要な借金によって賄われている状態にあります。

### 【歳入】10億1,247万4,116円

(前年度比 0.8%減)



- 分担金及び負担金 … 農業集落排水の受益を受ける方から地区により定めた分担金を頂いています
- 使用料及び手数料 … 農業集落排水使用者から汚水の処理に係る費用を汚水の排出量により定めた料金を頂いています
- 国庫支出金 … 国補助対象事業費の50%が補助金として国より支出されています
- 県支出金 … 国補助対象事業費の10%が県より支出されています
- 財産収入 … 集落排水基金積立金の利子等です
- 繰入金 … 国・県からの支出金、市債等で不足する事業費を一般会計からの繰入れています
- 繰越金 … 前年度の収支差による繰越金です
- 諸収入 … 消費税還付金等です
- 市債 … 市で支出する事業費の一部を借入れしています

# ◆歳出 9億5,307万4,989円

(単位：円)

費目	平成27年度	割合	平成26年度	増減
総務費	204,090,900	21.4%	147,908,871	38.0%
集落排水整備費	509,403,893	53.4%	585,678,776	△13.0%
災害復旧費	-	-	7,885,200	△100.0%
公債費	239,580,196	25.1%	228,310,081	4.9%
予備費	0	0.0%	0	0.0%
合計	953,074,989	100.0%	969,782,928	△1.7%

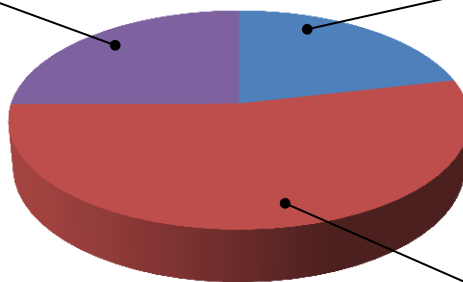
歳出内訳は、総務費が21.4%、集落排水整備費が53.4%、公債費が25.1%を占めております。建設費用のための整備事業費の占める割合が多く、そのため借入れた市債を償還するための公債費が、今後さらに大きな割合を占めるようになり、予算の硬直化が進んでいく状況にあります。

## 【歳出】9億5,307万4,989円

(前年度比 1.7%減)

○公債費 2億3,958万196円  
25.1% (前年比 4.9%増)

○総務費 2億409万900円  
21.4% (前年比 38.0%増)



○集落排水整備費 5億940万3,893円  
53.4% (前年比 13.0%減)

- 総務費 … 職員人件費、事務費、集落排水処理施設維持管理費等に要する費用です
- 集落排水整備費 … 集落排水施設新設に要する委託費、工事費等です
- 災害復旧費 … 東日本大震災により被災した集落排水施設の復旧に要する委託費、工事費等です
- 公債費 … 建設費用のために借り入れた市債の償還に要する費用です
- 予備費 … 不測の事態に対応するために要する費用です

### ●過去5年間の事業費の推移

#### ◆歳入

費目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
分担金及び負担金	10,901,000	67,770,000	47,714,000	34,435,000	21,642,000
使用料及び手数料	55,613,495	58,887,252	63,580,435	69,589,096	74,312,272
国庫支出金	97,596,000	102,675,000	209,000,000	219,350,000	150,000,000
県支出金	127,302,000	137,771,000	27,005,000	31,765,000	35,639,000
財産収入	9,644	58,003	84,571	127,075	150,176
繰入金	318,370,000	177,149,000	296,415,000	232,975,000	288,418,000
繰越金	61,652,848	110,112,494	27,787,192	77,979,218	51,064,867
諸収入	3,908,028	673,500	3,449,127	3,727,406	12,747,801
市債	212,000,000	203,100,000	402,400,000	350,900,000	378,500,000
合計	887,353,015	858,196,249	1,077,435,325	1,020,847,795	1,012,474,116

#### ◆歳出

費目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
総務費	112,640,652	129,577,076	135,743,020	147,908,871	204,090,900
集落排水整備費	290,095,136	292,758,329	565,467,120	585,678,776	509,403,893
災害復旧費	165,169,479	188,689,505	8,925,000	7,885,200	-
公債費	209,335,254	219,384,147	289,320,967	228,310,081	239,580,196
予備費	0	0	0	0	0
合計	777,240,521	830,409,057	999,456,107	969,782,928	953,074,989